

## 弘前大学オープンキャンパス「C15 教育学部長と語ろう！」にご参加の皆さんへ

このたびは、本企画にご参加くださりありがとうございました。皆さんからいただいた質問は、いずれも日本の教育の現状を考える上で、あるいは自身の進路を決める上でも大事な問いだと考えます。

当日、すべての質問に答えることができなかつたため、未回答の質問について下記のとおり、回答させていただきます。

すべての質問について、共通してお伝えしたいことは、①一般的な問題としてではなく、個別・具体的な事例などを通して考えること、②マスコミやインターネットから得られる情報だけでなく、実際に人から話を聞いたり、本を読んだりすることを通じて、当該の問題に対する自分なりの意見を持つということです。

是非、皆さんの学びが深化していくことを、心より願っております。

令和5年8月 弘前大学教育学部長 福島 裕敏

- Q SDGs4-7 には「教育を受けるすべての人が、持続可能な社会をつくっていくために必要な知識や技術を身につけられるようにする。」とありますが、どのような教育をすればこの目標が達成出来ると思いますか？
- Q SDGs4-c には「開発途上国、特に開発が遅れている国や島国で、学校の先生の研修のための国際協力などを通じて、知識や経験のある先生の数を沢山増やす」とありますが、開発途上国の先生に対して、どのような研修を行えば良いと思いますか？また、開発途上国の先生が必要な知識や経験とはどのようなものであるべきだと思いますか？
- A 弘前大学教育学部では、昨年度・今年度と、JICA の教員研修プログラムを受託しています。開発途上国において教員の養成や研修に関わっている方々が対象です。そこでの議論において大事にすべきとされていることは、やはり子どもたちの学習をどのように支援していくのかということです。単に知識や技能を伝達・獲得するのではなく、一人ひとりの学習者としての自律に向けた働きかけを行うことです。ただし、開発途上国といっても十把一絡げにできるものではなく、個々の国により歴史・文化・政治・経済・社会状況は大きく異なるため、個別の事例に即して考えていく必要があると考えます。
- Q 中学校の部活動のメリットとデメリットについてどう考えているか教えて欲しいです。
- A 部活動のメリット・デメリットについては、最近、それに関する本も出ておりますので、自分なりに整理されることをお勧めします。私の専門分野では、内田良氏、中澤篤史氏がお勧めです。
- Q 少子化によって小・中学校の統廃合が見込まれていますが、これからの教育現場に求められる教育者とはどんな人物だと思いますか。
- A 統廃合の問題は、これから一層深刻になってくると思います。ただし、まずは子どもたちを自律した学習者に育てること、そのために子ども、教師、保護者や地域住民等と一緒に教育活動を行っていくことが重要と考えます。

Q 子供との接し方について大切なことはなんだと思いますか。多様性の社会のなかで子供たちとの交流の仕方も変化するべきだと思いますか。

A 教育は、一人ひとり異なる個性をもった子どもたちがよりよく社会を生きていくための助成的働きかけです。ですので、個に応じた働きかけを大事にするとともに、互いの違いを承認しながら他者とともに生きていくための働きかけも大事にしていく必要があると考えます。

Q 中学校の教員になりたいのですが、叱る時に怒鳴るなどに抵抗があるのですが、教育の上で怒鳴ることは必要だと思いますか？

A 安心・安全がなければ、自己肯定感や自己決定は育まれないと考えます。怒鳴るのではなく、児童生徒が納得し、よりよい生き方に向かうような働きかけを大事にすべきと考えます。

Q 弘前大学教育学部ならではの教員の特徴はなんですか？

A 弘前大学教育学部が目指す教員像は、児童生徒に働きかけ、その反応を読み取り、働きかけ返す教育プロフェッショナルです。すなわち、児童生徒との応答的な関係を大事にしながら、かれらの成長を支援することができる教員です。詳しいことは、「オープンキャンパス 教育学部紹介(その1) 学部長自ら解説、こんな教員を育てたい!」をご参照ください。

Q 養護教諭になるために看護学部より教育学部の良い点は何ですか？

A 教育学部の場合には、子どもたちの学びや育ちを支える教育、特に養護教諭の場合には「養護」についての専門性を高めることができる点です。

Q 高大接続改革の一環で共通テストが導入されましたが、蓋を開けてみればセンター試験と大差ないものになりました。教育学部部長として共通テスト導入をどのように評価されますか。

A 大学入学共通テストでは、確かに一時期提唱されていた記述式の問題や英語の外部テストが導入されず、センター試験と一見すると大差ないように見えるかも知れません。ただし、単なる知識・技能ではなく、情報の内容を理解し思考し判断する力をより重視する傾向にあると考えます。あらためて大学入学テストが重視しているポイントについて確認するとともに、具体的な問題に即して考察してみてください。